

年頭にあたって

皆様、明けましておめでとございます。

清々しい新春をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様方には、日頃より県政の推進と議会活動に対しまして、ご支援を賜っておりますこと、心から厚く感謝申し上げます。

二十一世紀もはや十年目を迎え、改めて時代の大変革期に立ち向かう緊張感に身の引き締まる思いがいたします。

昨年我が国の世相を象徴する漢字が『新』という一字で表されています。

それは主に政治の変革、昨年夏の衆議院総選挙における歴史的な『政権交代』からの想いが国民の皆さんの大きな期待感とそれを受け止める鳩山新連立内閣の責任ある対応であります。なかでも、取りわけ懸念されるのは、世界的な金融危機から来る経済恐慌と雇用不安の増大や、私たちの生活の将来不安から内需も萎縮し、益々デフレ経済社会の悪循環へと向かいつつあります。

この様な中、昨年末より政府主導による新産業の創出等の景気浮揚に向けて「経済成長戦略」策定の中で、「雇用」「環境」「子育て」の三分野を柱とする新年度予算編成による短期的な緊急経済対策と同様に、今後十年から二十年先を見据えた中長期的な成長戦略を提示されたところであります。

私達の地域社会にあっても、少子・高齢化とともに、家族や地域のつながり、社会経済システムに確実な変化がもたらされ始めています。

それは、「地域主権」という言葉が象徴する地域活力の増進であり、それは兵庫県政の諸施策においては、ふるさと自立支援であり地域商店街の活性化や就農促進などの各地域への市町支援を強力に応援していく中で、仕事と社会が調和するライフワーク・バランスや地域生活の場で女性や高齢者の地域の元気を生かせる社会の実現がテーマです。

変化の激しい時代だからこそ、新たな発想と行動力をもって、「今を生きる私達こそ、未来を切り拓いていける」との気概をもって何事にも臨むことが求められているといえます。

十一万都市三田の未来へ向かうまちづくりが益々重要な時、生活の質的な豊かさもたらす創意あふれる地域づくりを皆さんとともに進めていく決意です。

日増しに寒さも厳しさを増す折りから、ご自愛いただき、新しい年が皆様にとりまして幸多き年でありますことを心からご祈念申し上げます、年頭のご挨拶と致します。

平成二十二年 元旦

民主党兵庫県連副代表

兵庫県議会議員

芝野 照久